

コロナ禍における高山市財政と経済対策の検証

～支所地域の観光を活かした持続可能な地域づくり政策の目標と条件～

2024年度 共同論文
愛知大学地域政策学部
鈴木誠ゼミナール

昨年度の調査で分かったこと

高山市は、国・県の支出金や市独自の経済対策により、新型コロナウイルス感染症が市内の生活や産業に及ぼす影響を最小限に止めることに成功した。その要因は、市の堅実な財政運営による積極的なコロナ対策にある。ただし、そのような成功があっても、コロナ禍において、支所地域を中心にますます高齢化・人口減少が加速している。義務的経費への支出も増加傾向にあり、他市に比べれば良いものの、徐々に市の財政運営は硬直化の傾向を強めている。それ故、高山市では、今後支所地域における地域経済の持続可能性をいかに実現するかが重要な課題といえる。

◎今年度の調査

安定した財政運営が続き、インバウンド効果が市街地において拡大する中で、高山市全体では、ポストコロナの持続可能な地域づくり政策を展望する必要性が高まっている。その際、人口減少と高齢化が加速する「支所地域」の持続可能性を導く地域づくり政策が重要ではないか。こうした問題意識に立ち、私たちは**支所地域を訪れ、高山らしい観光を活かした持続可能な地域づくり政策の課題について検討**。

高山市は2005年に近隣9町村（丹生川村、清見村、荘川村、宮村、久々野町、朝日村、高根村、国府町、上宝村）と合併しており、その9町村が支所地域となっている。

今年度の調査では、この支所地域のうち、右記の⑨上宝町の奥飛騨温泉郷、⑥朝日町、⑤久々野町、⑦高根町など過疎指定を受ける地域を訪問し、上記の検討に取り組んだ。



報告の流れ

- ① 高根町の地域未来戦略について
- ② 内発的発展 縮減社会について
- ③ 高根町でのヒアリング分析について
- ④ 京都府南丹市美山町と大洲市の事例
- ⑤ 高山市の財政と宿泊税について
- ⑥ 民間事業者へのヒアリングと地域産業戦略について
- ⑦ 高根町への提言（3つ）
- ⑧ まとめ



高根町における 地域未来戦略とは

高根地域未来戦略とは？

高根まちづくりの会で考えられている、高根町の外に住む外部人材が高根町の課題に協力する仕組みを作ることによって、地域課題の解決、地域の存続を目指すという戦略

地域の方の困りごと

祭りの衰退
農業の担い手不足
消防団・町内会の負担増加

人手不足
少子高齢化

地域の課題解決の
政策立案・事業実施

高根町にルーツを持つ人
観光旅行者
まちづくりに関心のある若者

外部人材・関係人口

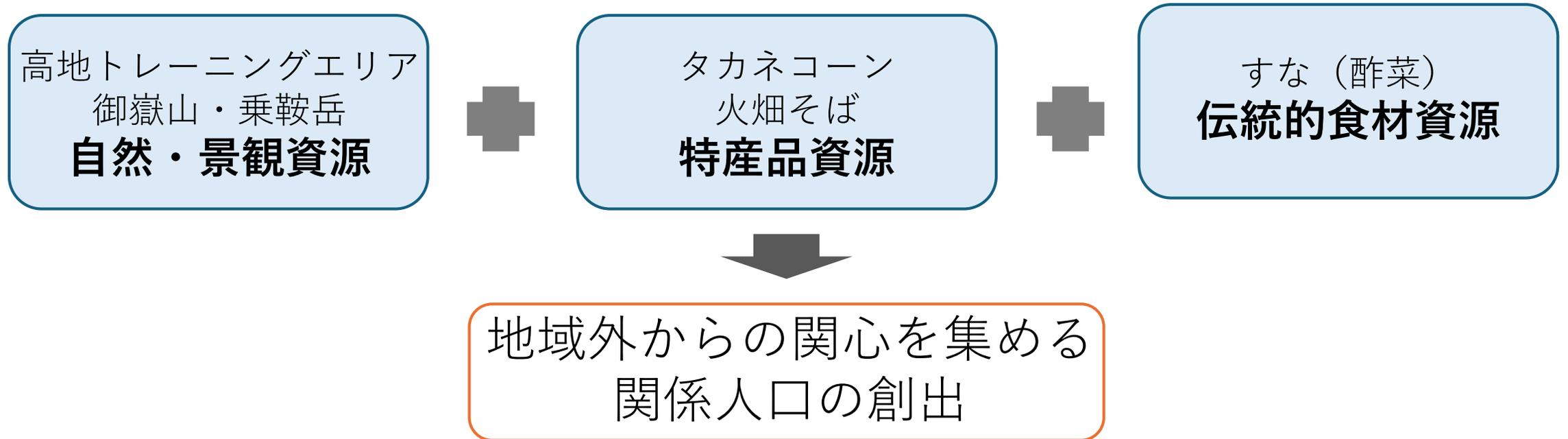
高根応援団

外部人材・関係人口が地域課題解決をサポートするシステムの構築

具体的な施策

①外部人材・関係人口が地域課題を解決するシステムをつくる

②関係人口を増やすための具体的な事業を行う

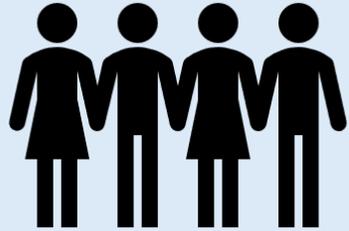


③事業主体の設立（まちづくり会社） = 株式会社、合同会社、NPO法人

関係人口について

交流人口

地域にほとんど
関わりがない人



「ただ観光で来ました」
「正直何があるのか
分からない」

関係人口

より多様な地域づくりに
参画する人



何らかのかかわりがある(勤務)



頻繁に行き来する人(旅行等)



地域にルーツがある

定住人口

地域に住んでいる人

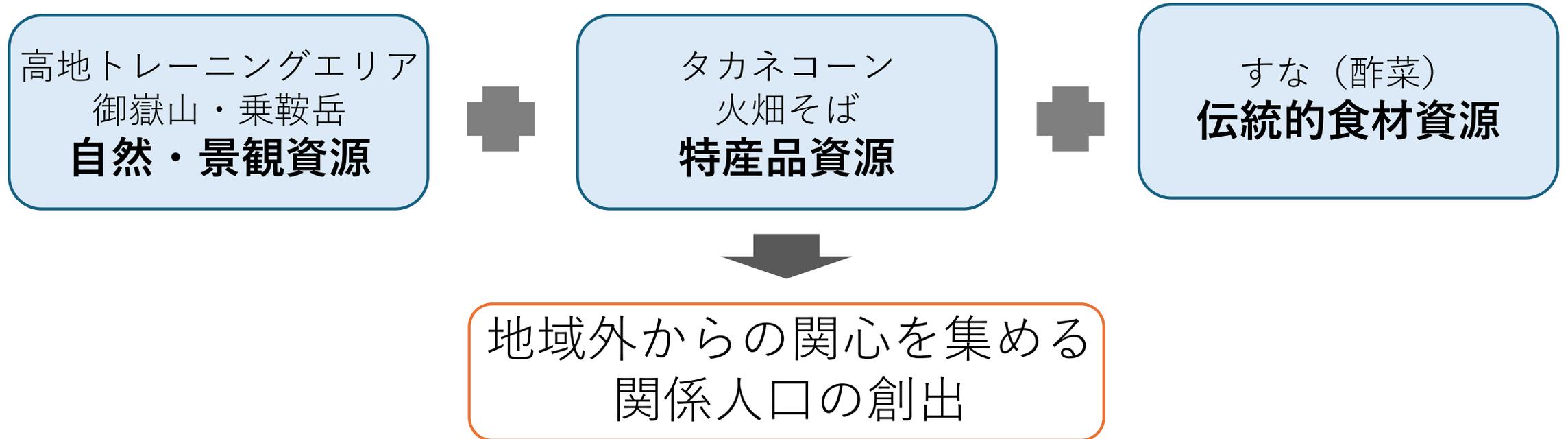


地域との関わりへの想いが
強くなる傾向にある

具体的な施策

①外部人材・関係人口が地域課題を解決するシステムをつくる

②関係人口を増やすための具体的な事業を行う



③事業主体の設立（まちづくり会社） = 株式会社、合同会社、NPO法人

ヒアリング概要

調査日	2024/8/22	8/23
対象	20代 3名 30代 1名 40代 4名 50代 9名 60代以上 9名 計26名(男性:24名/女性:2名) Uターン者：2名	65歳未満 10名 前期高齢者 13名 後期高齢者 10名 計33名(男性:21名/女性:12名) Uターン者：2名
調査場所	塩沢温泉 七峰館	中之宿公民館(中洞・中之宿・猪之鼻地域) 高根公民館(上ヶ洞・池ヶ洞・黍生地域) 留ヶ原公民館(日和田・小日和田・留之原地域) 阿多野郷公民館(野麦・阿多野郷地域)
調査内容	①高根地域の現状をどう思うか。 ②そう思う理由は何か。 ③高根がこれからも維持し、少しでも発展していくためにはどうすればよいと思うか。 ④実効性のある対応を進めるためにはどうしたら良いか。	①高根地域または自分が住んでいる地区の現状をどう思うか。 ②そう思う理由は何か。 ③これから高根または自分の地区を少しでも良くしていくためにはどうすれば良いと思うか。 ④これからの高根地域に望むことは何か。

(出所)ヒアリング資料より作者作成

內發的發展論

「内発的発展論」とは

内発的発展論

農山村地域に
根付いた考え方

様々な**有効事例**が
確立している



分析・政策提言
に**有効**

「内発的発展論」に基づいた地域振興

地域の
人口特性

雇用・労働
の現状



地域特性を保全する
枠組みの中で
地域再建を目指す

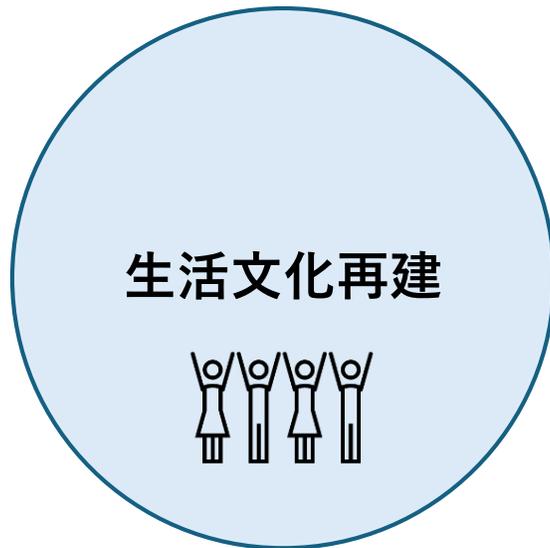
- ・ 環境保全
- ・ 生活文化（祭）
- ・ 公共施設の維持



高根町のすばらしい自然環境や地域コミュニティを守り、
持続可能な発展を遂げるための考え方



農山村地域における内発的発展の有効性



高根町の政策を検討する上で重要な考え方！

—内発的発展論の定義—

キーワード

①環境・生態系の保全及び社会の**維持可能な発展**を政策の枠組みとしつつ、人権の擁護、人間の発達、生活の質的向上を図る**総合的な地域発展**を目標とする。

- ・ 持続可能性
- ・ 総合的発展

②**地域にある資源**、技術、産業、人材、文化、ネットワークなどの**ハードとソフトの資源を活用**し、地域経済振興においては、複合経済と多種の職業構成を重視し、**域内産業連関を拡充**する発展方式をとる。地域経済は閉鎖体系ではないため、「地域主義」に閉じこもるのではなく、経済力の集中・集積する都市との連携、その活用を図り、また、必要な規制と誘導を行う。国家の支援措置については、地域の自律的意思により活用を図る。

- ・ 地域資源活用
- ・ 産業連関

③**地域の自律的な意思に基づく政策形成**を行う。住民参加、分権と住民自治の徹底による地方自治の確立を重視する。同時に、地域の実態に合った事業実施主体の形成を図る。

- ・ 住民参加
- ・ 地域主体

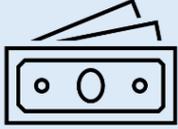
内発的発展論を農山村に即して考える－保母武彦の論点－

☑ 4つのチェックポイント

① グランドデザイン  . . . ほかの事業との連関性が重要
(計画の全体構想)

② 地域住民の理解  . . . 住民参加による地域の自己決定権が重要

③ リーダーの存在  . . . 技術を持ち、全体を見渡すリーダーの存在が必要

④ 運営資金  . . . 運営資金が確保できるのかどうかの確認が必要

農山村地域での地域づくり

1. 内発的な産業振興策

①既存の産業・企業を発展させる



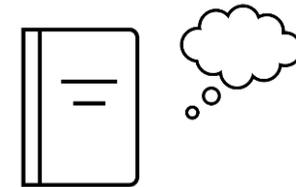
②地域に既存しないが必要な産業・企業を地元の力で創出する



2. 地域の自己決定権の発揮

- ・地域のランドデザインをしっかりと描くことが重要
- ・ランドデザインでは、地域の資源と地域の条件を活かし、住民の理想と現状の結びつけが必要

農山村地域において具体的にランドデザインを描くには・・・



①地域人口政策

②産業政策

③住民生活(特に、農山村的生活様式の再興)

欠かせない

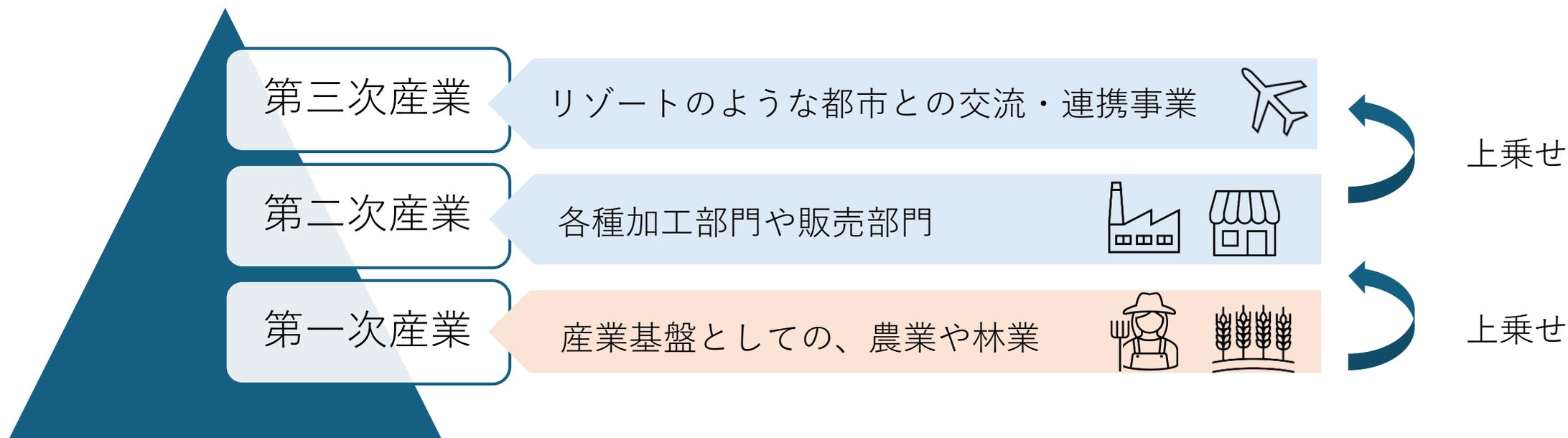
農山村地域での内発的発展の方法

3. 産業政策

①多様な職種を持つ産業に作り替え、職業の選択肢を多様化する必要がある

➤➤➤ 若者のIターン・Uターンの獲得 

②農山村の産業基盤は第一次産業とすること 





縮減社会論と 内発的発展の可能性

「過疎・縮減社会」に至るまでの進行プロセス

1970年：過疎地域対策緊急措置法
10年の時限立法として制定

人の空洞化

1960年代からの高度経済成長により若年層を中心とした農山村から都市への人口大移動
(社会減)

土地の空洞化

1990年代前後の人口の自然減に伴う耕作放棄地や空き家の増大

むらの空洞化

2000年代からの限界集落問題の発生

誇りの空洞化

地域住民がその土地に住む意義や価値を見出せない状態

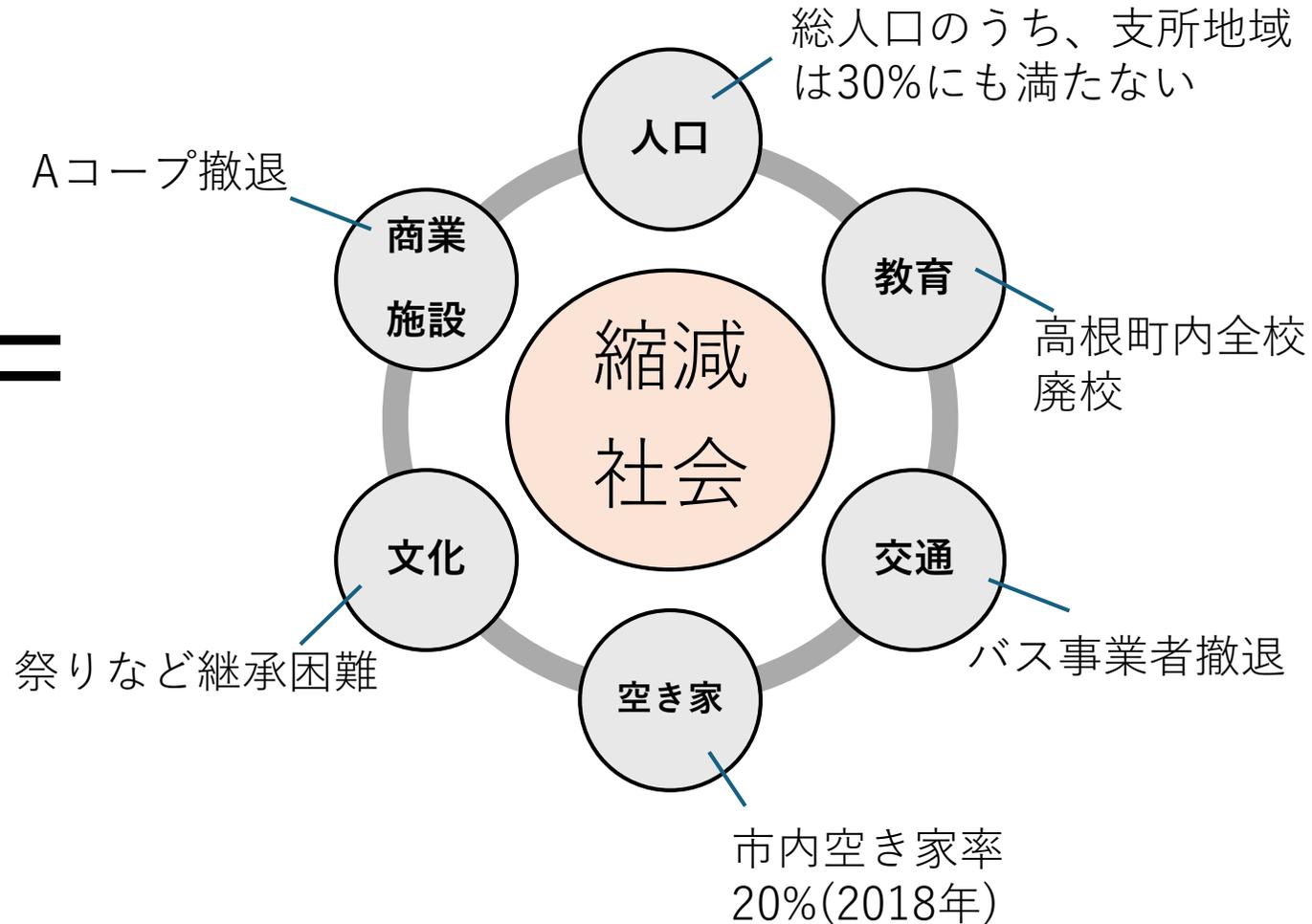
高山市支所地域と「縮減社会」

○**誇りの空洞化**が表す家族機能の縮減、地域における共助機能の縮減、社会的連帯の縮減、コミュニティ意識の縮減、これらの生活文化機能が低下する社会を「**縮減社会**」と定義する

高山市支所地域

○旧清見村、旧荘川村、旧久々野町、旧朝日町、旧高根村及び旧上宝村の各地域は合併前から現在に至るまで過疎地域に指定されている

=



高山市の人口動態

- 高山市は総人口82,644人、高齢化率33.8%（R6.4）
- 総人口の約70%を市街地地域が占め、合併後の9支所地域の全人口は30%にも満たない
- 高根地域は人口減少が著しく、人口は268人、高齢化率は約68%に達する（R6.10）
- 高山市は団塊世代と団塊ジュニア世代の中高年層に厚みのある年齢構造に変化しており、特に20歳～24歳の職業上・学業上を主な理由とした転出超過は顕著

高山市の総人口の推移と増減率

		1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020
人口	実数 (人)	95,859	96,680	97,023	96,231	92,747	89,182	84,419
	増減率 (%)	—	0.9	0.4	▲0.8	▲3.6	▲3.8	▲5.3



(出所) 飛騨高山観光公式サイト

(出所) 総務省「国勢調査（各年10月1日現在）」より報告者作成

危機的状況において求められる地域社会の取り組み

○縮減社会である支所地域

において持続可能な地域づくりを行うには？

✕ 企業誘致、リゾート開発、補助金活用
した公共事業

○ 地域外資本に依存しない地域づくり
= 内発的発展

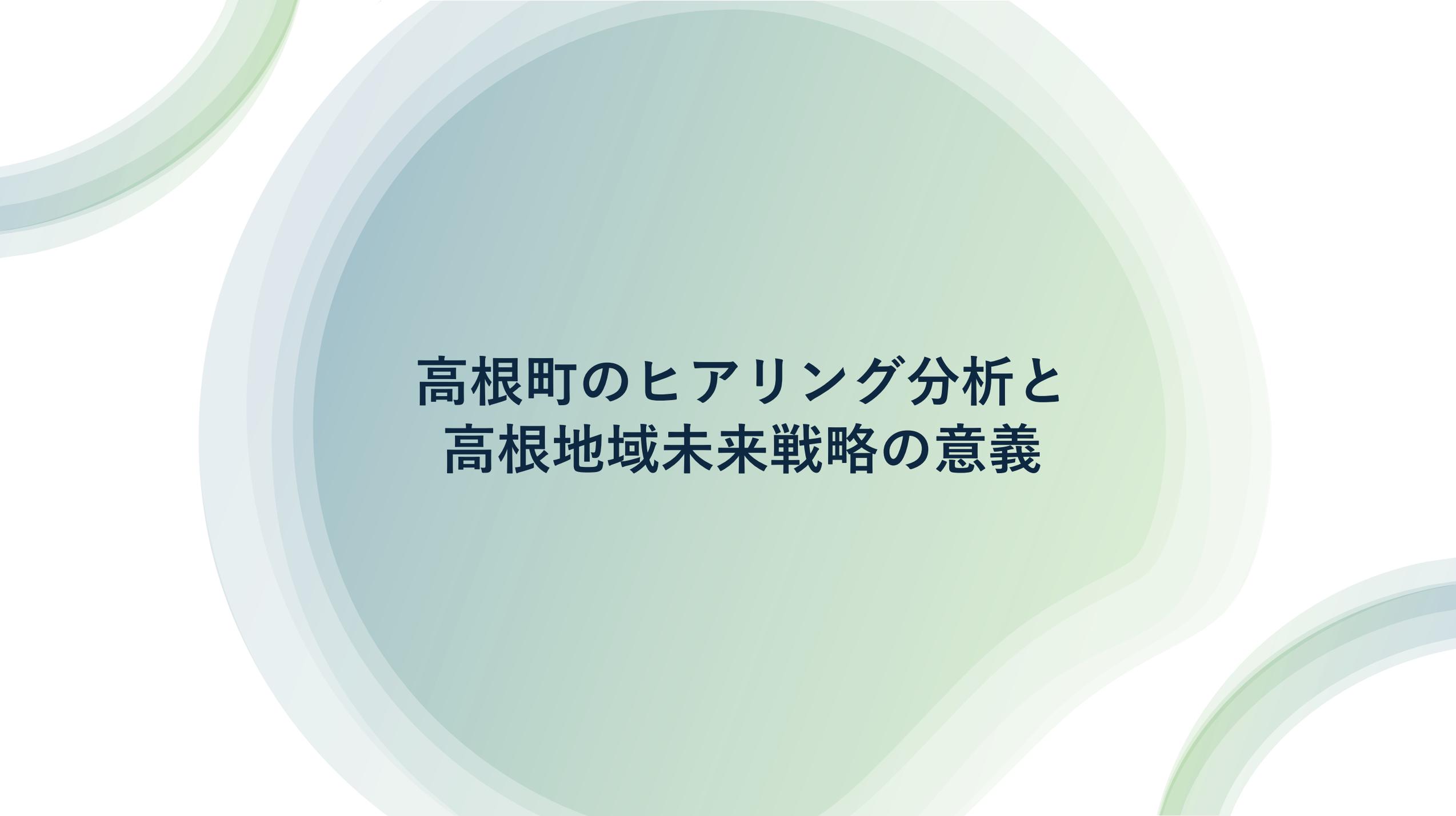
バックキャストイング

地域社会の将来的にありたい姿
・ビジョンを描く

地域住民でビジョンを共有する

実現に向けて取り組むべき事業
・制度設計を行う

理想の地域社会像
を実現させる



高根町のヒアリング分析と 高根地域未来戦略の意義

ヒアリング分析

8/22

- ①高根地域の現状をどう思うか。
- ②そう思う理由は何か。
- ③高根がこれからも維持し、少しでも発展していくためにはどうすればよいと思うか。
- ④実効性のある対応を進めるためにはどうしたら良いか。

8/23

- ①高根地域または自分が住んでいる地区の現状をどう思うか。
- ②そう思う理由は何か。
- ③これから高根または自分の地区を少しでも良くしていくためにはどうすれば良いと思うか。
- ④これからの高根地域に望むことは何か。

ヒアリング分析

高根の現状をどう思うか、そういう理由は何か

人口減少・少子高齢化

施設・交通機関が少ないという不安

若者の流出
深刻化

農業の担い手
不足

祭りの担い手
不足

役割の負担が
大きい

縮減社会化に由来する地域の課題

ヒアリング分析

縮減社会化に由来する地域の課題や縮減社会対策は、
地域の中の住民や行政だけでは解決が難しい

保育園
小・中学校が
無い

公共交通機関が
無い

働く場所が
少ない

I・Uターン者
少ない

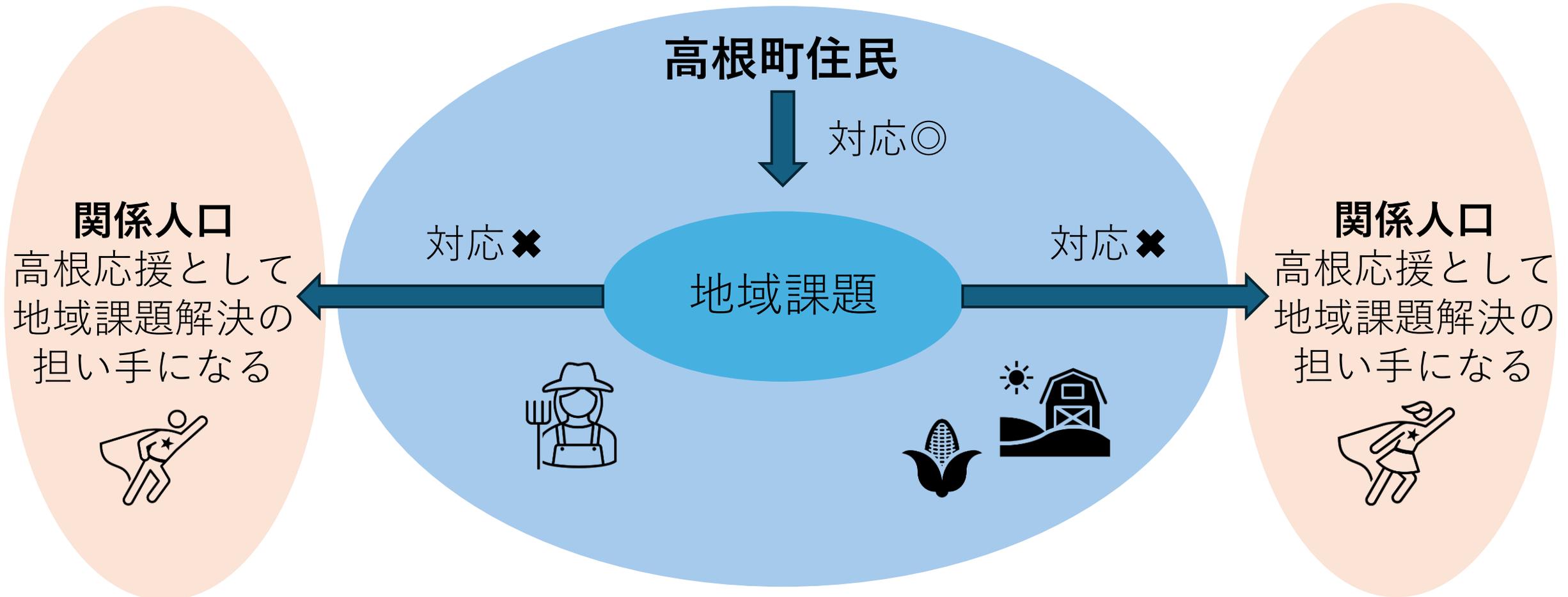
行政

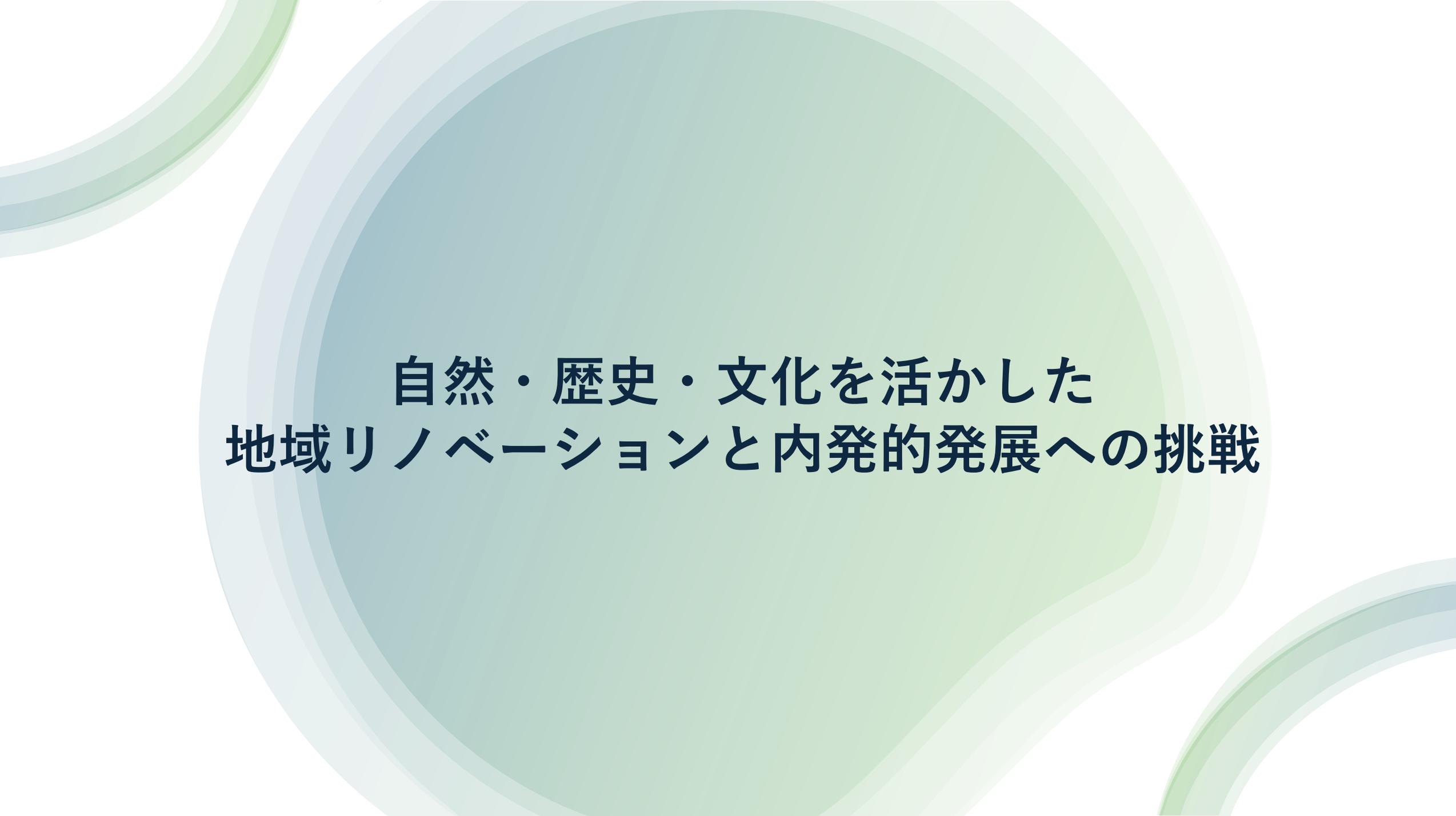
I・Uターン者への
家賃補助

人口減少・少子高齢化はどんどん進み、
地域の人材・マンパワーは不足し、高齢化する地域住民の
日常生活上の負担や将来への不安は増える傾向

高根地域未来戦略の意義

地域課題を地域の中だけで解決するのではなく、地域外の人材との相互協力によって解決を目指そうとしている点に意義がある





**自然・歴史・文化を活かした
地域リノベーションと内発的发展への挑戦**

地域全体で稼ぐ = 美山町の事例

<美山町の地域性>

- ・ 京都府中央部、南丹市の**北部**に位置
- ・ **面積の96%が森林**に覆われている**中山間地域**で、多雨多湿で比較的雨が多く、冬季には積雪量も多い
- ・ 2006年に近隣の園部町、八木町、日吉町、美山町が**合併**し誕生した南丹市を形成する1つの地域



👉(出所)美山町観光情報サイト
美山ナビ

👉(出所)南丹市 公式ホームページ

なぜ美山町の調査をしたのか

○高山市支所地域と美山町の特徴

高山市支所地域の特徴

- * 定住人口減少
- * 交流人口の誘客低迷
- * 「地域全体・住民全員が主人公で稼げるまちづくり」が必須
- * 観光ビジョン・テーマ、推進組織の設置急務

共通性

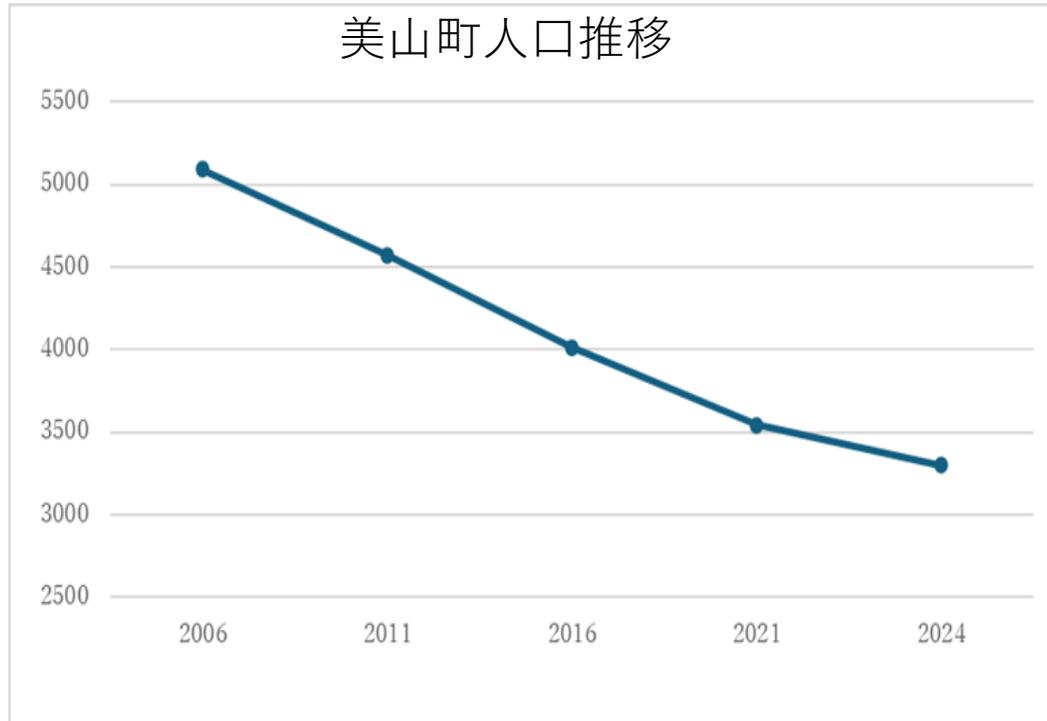
美山町の特徴

- * 定住人口の減少
- * 交流人口の誘客低迷
- * 観光ビジョンのテーマに「地域全体で稼ぐまちづくり」をきっかけ住民主体で着手
- * 推進組織「一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会」設置

各支所地域の地域づくりの目標（ビジョン）や方法（推進組織、人材、資金）を考えるために、美山町の観光を活かした地域づくりの歴史を先行事例を分析しなければならないと実感！

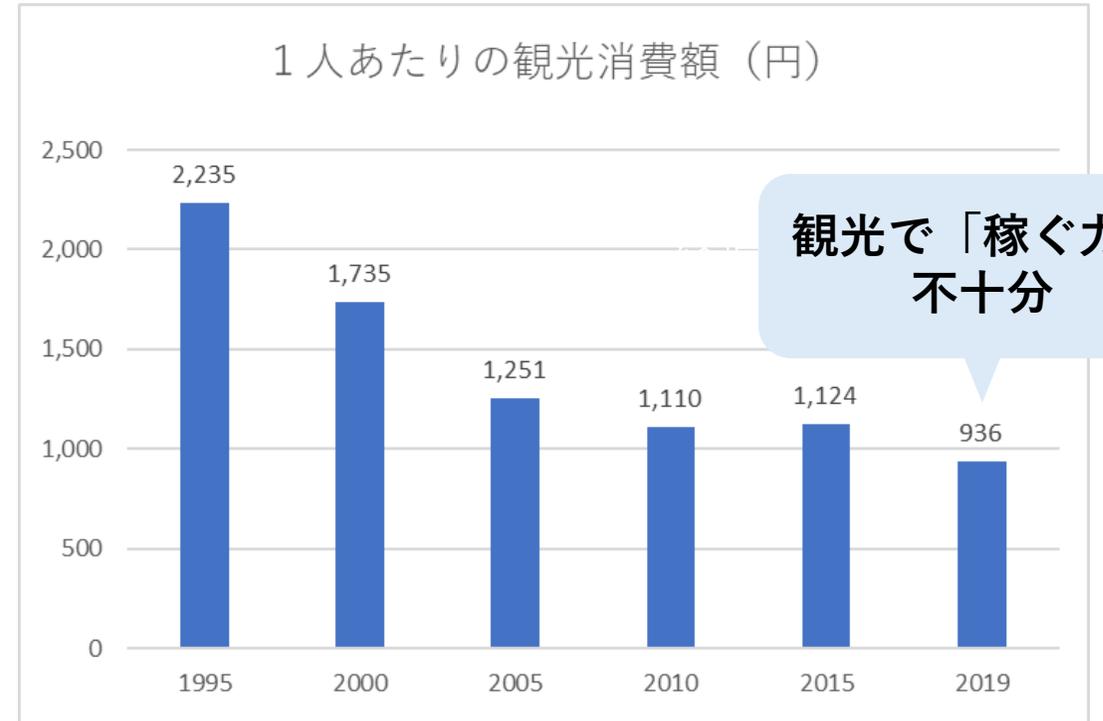
地域課題

○人口減少



(出所)南丹市「人口・世帯数集計表・年齢別人口集計表」より報告者作成

○個人の観光消費額の低迷



(出所)一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会「～美山町観光ビジョン 2021～地域全体で稼ぐまちづくりを目指す～」より報告者作成

先行研究：京都府美山町 = 地域の資源を検証し、活かし方、仕組みを住民みんなで作り出す

○ エコツーリズムという仕組みに住民参加を促し誘客を目指す

地域資源

かやぶきの里
芦生の森
大野ダム

特徴

地域資源を活用
した地域の誘客

宿泊やお土産販売、
体験事業による
所得の創出

エコツーリズム
推進協議会の発足

エコツーリズム
推進全体構想の策定

地域住民の
積極的な参加

地域住民が
地域資源の価値
を再認識

慢性的な地域課題の深刻化

先行研究：京都府美山町「内発的発展」に基づく先行事例

○美山町北集落エリアで地元主導のビジネス創業

「かやぶきの里」
とも呼ばれる



(出所)美山町観光情報サイト 美山ナビ

美林を活かした誘客ビジネス

- 1990年 北村きび工房が誕生
- 1991年 シンボルづくり運営協議会が誕生
- 1994年 かやぶき保存センターが開業

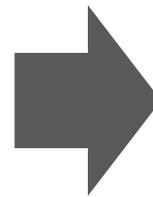


- ・ 経営の責任を集落として考える過程が確立
- ・ 住民が主体となって地域のためにビジネスに取り組む意義を住民の中で確認

内発的発展論の定義
と関連性が高い

行政・議会が条例等で応援

- 1992年 「かやぶき山村歴史の里整備計画」の策定
- 1993年4月 美しいまちづくり条例、美山町伝統保存地区条例の制定
- 1993年12月 重要伝統的建造物保存地区

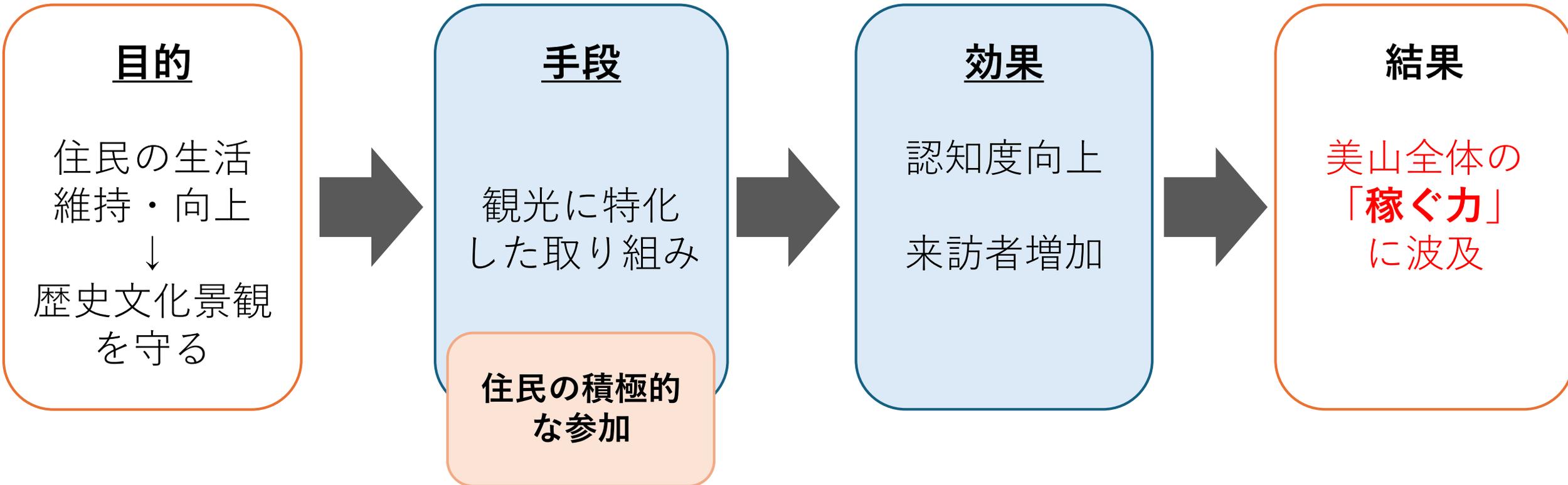


コミュニティビジネスの支援に繋がる制度が、観光文化制度として整備された

先行研究：京都府美山町「内発的発展」に基づく先行事例

○美山町北集落のコミュニティビジネスの政策体系

↳ 地域住民が主体となる政策体系



先行研究：住民、町内会が出資し、住民が働き、稼ぎ、定住できる仕組みを作る

○美山町鶴ヶ岡地区の「タナセン」というコミュニティ会社

外来型ではなく、
地元発の事業体

有限会社タナセンが運営する
「ムラの駅 たなせん」

概要

- ・正式名は「有限会社タナセン」
- ・地域住民と鶴ヶ岡自治会の出資による設立

効果、特徴

- ・地域内からの所得・雇用の形成
- ・地域コミュニティの結束力の向上
- ・多面的なソーシャルビジネス展開

(出所)美山町観光情報サイト 美山ナビ

美山町には見られない先行事例：愛媛県大洲市の住民主体型街中再生事業

ONIPPONIA HOTEL 大洲 城下町

↳ 観光まちづくりの高付加価値化



(出所)鈴木教授撮影 (左)愛媛県大洲市の城下町の街並み

(右)NIPPONIA HOTELの内観

先行研究：愛媛県大洲市「内発的発展」に基づく先行事例

○住民の危機感と協力で空き家を高級ホテル、レストラン等へ改築。キタ・マネジメントが誘客。住民雇用の機会を創出

住民の危機感

「空き家」を活用した
ホテルづくり

官民連携協定
で、観光を軸とした
まちづくり推進
組織・観光DMO
「一般社団法人キ
タ・マネジメント」
設立



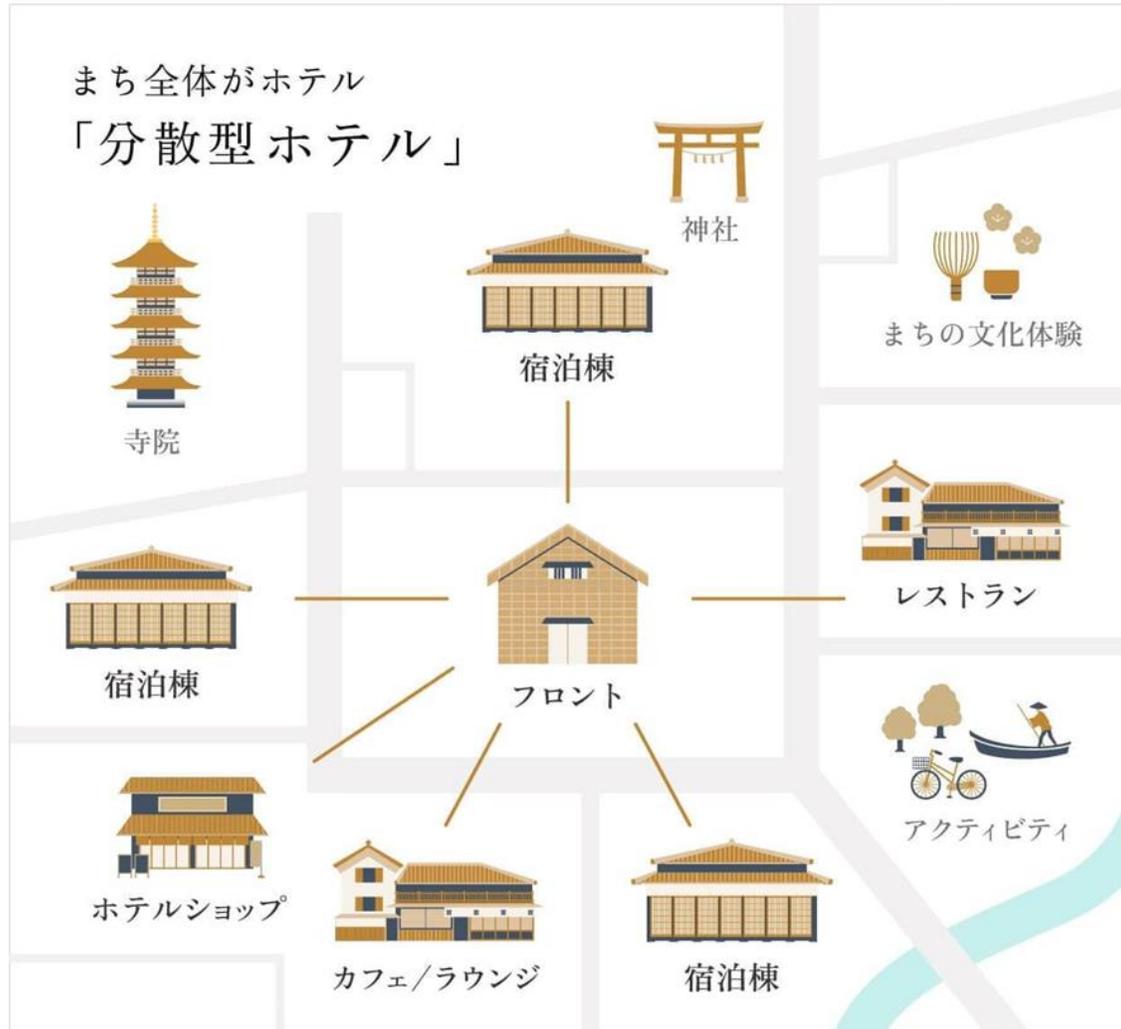
大洲まち歩きマップ（出所）大洲市観光協会HP

大洲市歴史的建造物 マップ
(出所)

一般社団法人キタ・マネジメント”大洲まちづくりブック”

NIPPONIA HOTEL大洲城下町

○まちなか分散型のホテル運営



(出所)NIPPONIA HOTEL大洲城下町"コンセプト"

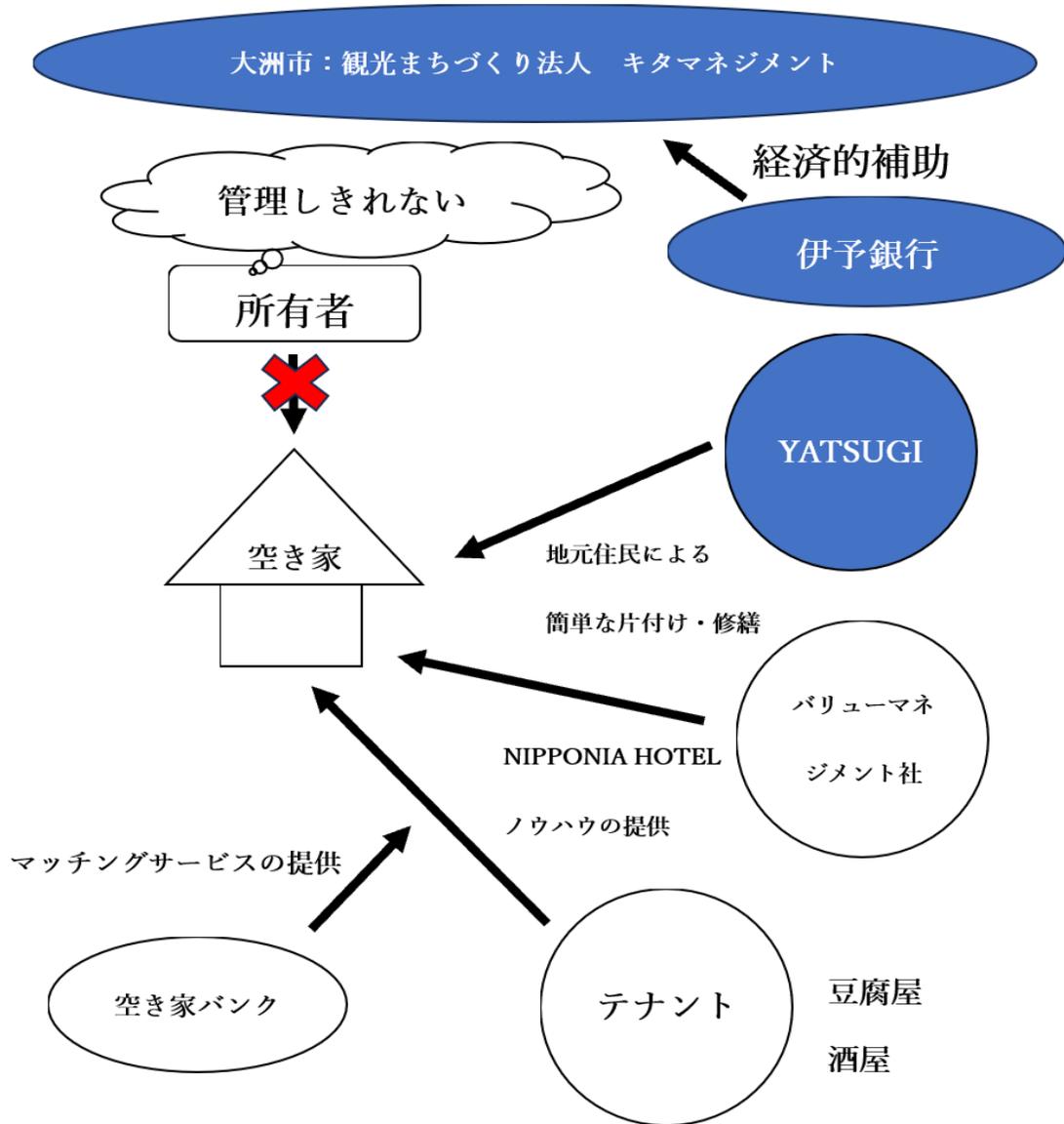
概要

- ・市街地全体を一つのホテルにし、観光客が回遊し、地元住民のお店で消費する仕組みを確立



まちのお店 養老酒造
(出所) 報告者撮影

豊かな自然・歴史的町並み



注目すべき「ラッキー7」

- ①大洲市の空き家が増える現状について、まず地元市民が歴史的街並みがなくなってしまうことへの危機感を感じ、声を上げた。
- ②危機感を持った住民が、自主的に空き家の掃除や修繕に取り組むなどの行動に出た。
- ③地元の住民活動が行政を動かし、官民連携による面的なまちづくりの再生を進めることになった。
- ④NIPPONIA HOTELの事例から分かる通り、外部資本を排除するのではなく、地元の発展の論理に迎え入れ、地域再生のパートナーとした点に注目したい。
- ⑤パートナーとなった外部資本は、地元にはない経験やノウハウを持つ。それを活かして歴史的価値のある建物をフロント・客室・レストランに分けるとい分散型ホテル事業を開始。
- ⑥地元の商店は、ホテルに宿泊する観光客を新たな顧客に迎え入れ、地元で所得を生み出す機会とした。
- ⑦キーワードは、「地域資源(自然、文化)の活用」と「住民の主体的な参画」である。行政の観光政策の手伝いや便乗型観光開発ではなく、内発的発展による農山村地域を再生し、市街地全体を「補助金を落とす場」から「地域で稼ぐ場」へとリノベーションしたこと。

高根地域未来戦略の課題

高根地域未来戦略の課題

- ①外部人材・関係人口が地域課題を解決するシステムをつくる
- ②関係人口を増やすための具体的な事業を行う
- ③事業主体の設立（まちづくり会社）＝株式会社、合同会社、NPO法人

↓ 具体的にはどういうことなのか？

具体的な事業内容

事業を行うための資金

まちづくり会社とは？

**アフターコロナは支所地域の再生が課題
ー宿泊税を活かすー**

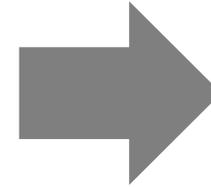
今後の財政運営における宿泊税の可能性

○なぜ宿泊税に注目するのか？

高山市の
自主財源
の増額



観光需要の
増加
↓
宿泊税によ
る
税収の増額



支所地域の高
付加価値型
ツーリズムの
財源としての
活用は可能
か？

「ふるさと創造財源」
としての運用

宿泊税とは

- 地方税の1種である**法定外目的税**。課税方法は自治体ごとに異なる。
- 2024年11月1日現在、3都道府県5市2町で導入されている。
- 高山市を含め、全国的に宿泊税導入を検討・予定している自治体が増加。
(高山市は2025年10月導入予定)
- 観光のための財源として、**地域の魅力向上**を用途に掲げるだけでなく、**地域の観光振興**や**市民生活と観光との調和**等に充てるための財源と位置づけ、導入されるケースが増加中。

高山市 宿泊税概要

導入時期	2025年10月1日
目的	国際観光都市として成熟した飛騨高山の観光の強みを、市のまちづくり全般に波及させ、住んでよし、訪れてよしの持続可能な地域づくりに要する費用に充てるため。
納税義務者	旅館業に係る施設又は住宅宿泊施設に係る住宅、旅館業法第2条第1項に規定する旅館業、住宅宿泊事業法第2条第3項に規定する住宅宿泊事業(民泊)に宿泊する者
税率	宿泊料金が10,000円未満の場合 100円 10,000円以上30,000円未満の場合 200円 30,000円以上の場合 300円

(出所) 高山市「宿泊税導入について」より報告者作成

<p>財源の使途 (予定)</p>	<p>①観光振興事業 (例：インバウンドに対するマナー啓発の強化 支所地域の地域資源の掘り起こし 等)</p> <p>②環境保全事業 (例：公衆トイレや公共交通機関などの利用環境の向上 自然環境の保全や活用、景観保全の強化 等)</p> <p>③文化振興事業 (例：文化財の保全や活用 文化・伝統芸能のに相手育成や魅力発信 等)</p> <p>④危機管理事業 (例：インバウンド医療体制の強化 災害時における市民・観光客の安全対策の充実等)</p> <p>⑤組織運営事業 (例：観光専門人材の確保や育成 支所地域の観光誘客強化 等)</p>
-----------------------	---

高山市における宿泊税

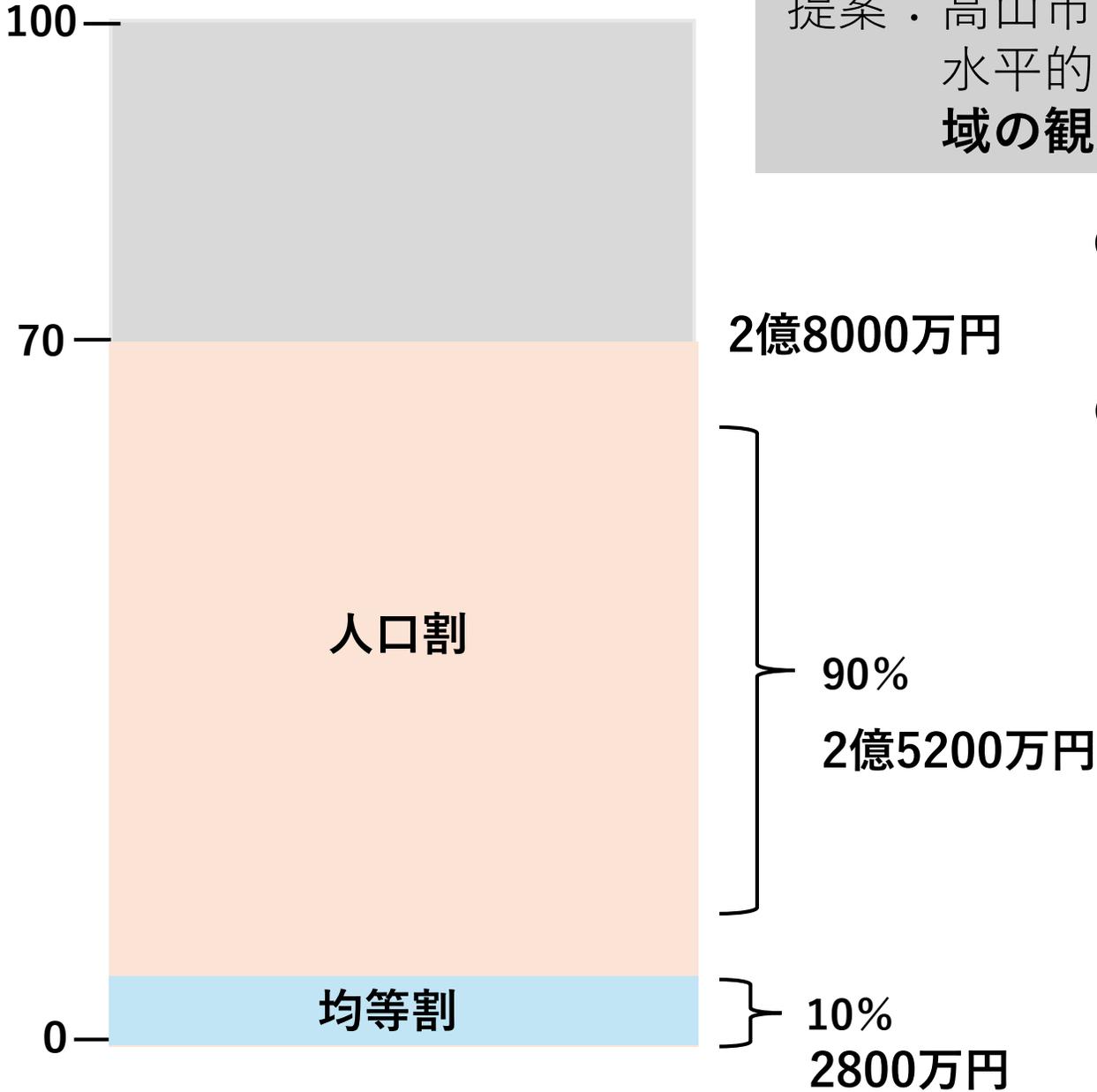
「支所地域の地域資源の掘り起こし」 「支所地域の観光誘客強化」

意味や方法はまだ不明だが・・・



市全体の観光関連事業に対して効果的な活用のため、
支所地域の維持再生を図るための
有力な財源として期待が持てる。
宿泊税を支所地域の発展のための財源、
「ふるさと創造財源」としての可能性を考えたい。

(%) 高山市想定宿泊税込収：4億円



提案：高山市の宿泊税の税収を市内市街地と支所地域との水平的財政調整による所得再分配によって、**支所地域の観光を活かした地域づくり**に役立ててはどうか??

① 2億8000万円を10地域で分配する場合
1地域あたり2800万円

② 均等割、人口割を設け、分配する場合

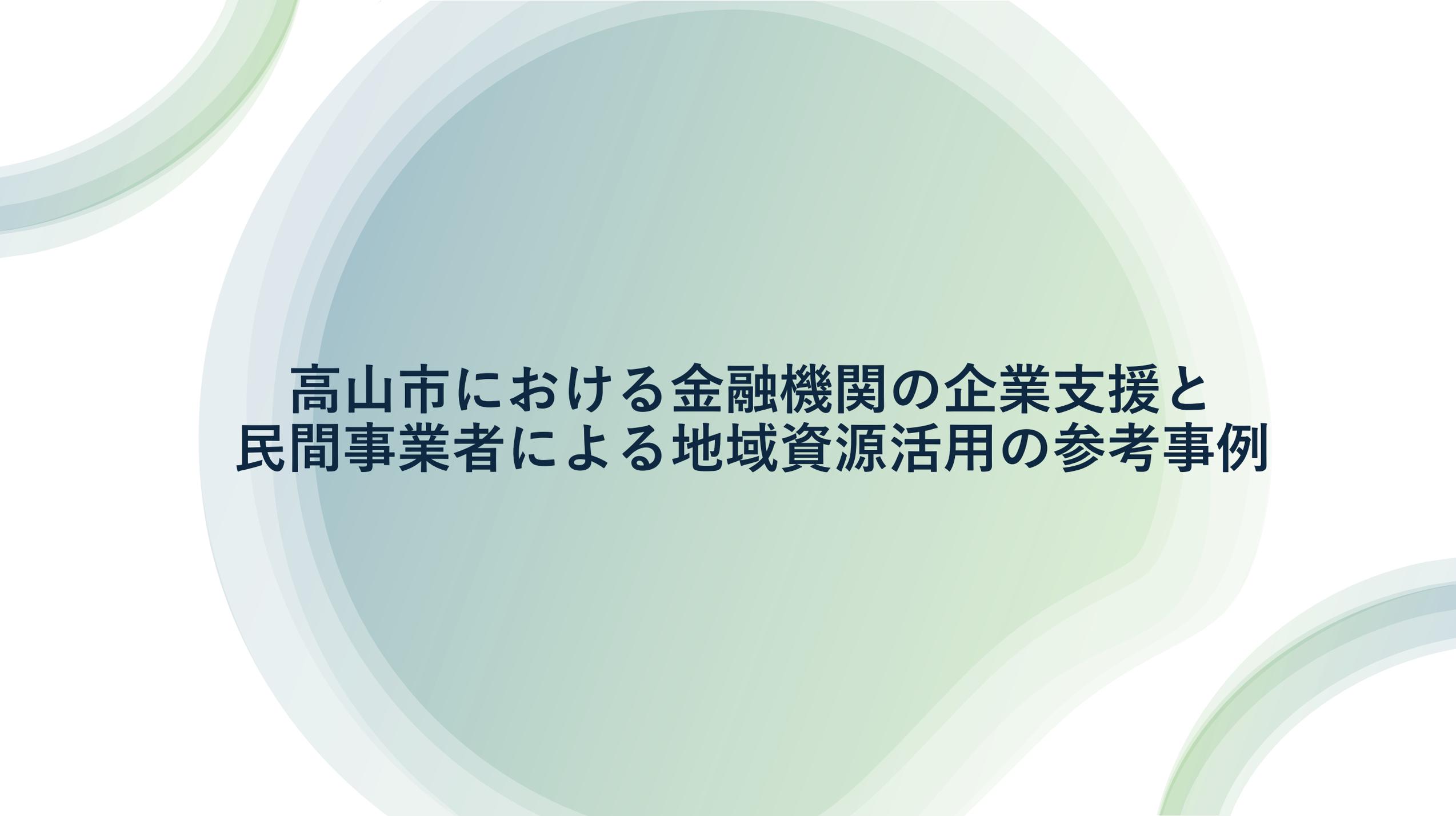
- ・ 均等割
2億8000万円の10%を均等割として分配する場合
1地域あたり280万円

- ・ 人口割
2億5,200万円を高山市民一人あたりに割り振る場合
一人当たり3,040円
(例)高根町人口268人(2024年10月1日現在)に
換算すると、
81万4,720円

高根町における人口割 + 均等割の宿泊税込収は
280万 + 81万4,720円 = 約361万5,000円

同様に支所地域(高根地域を除く)8地域で計算すると、

地域	人口(人) (2024年10月1日現在)	人口割(円)	人口割 + 均等割(280万円)(円)
丹生川地域	3,959	1,203万5,360	1,483万5,360
清見地域	2,184	663万9,360	943万9,360
荘川地域	970	294万8,800	574万8,800
一之宮地域	2,330	708万3,200	988万3,200
久々野地域	3,122	949万880	1,229万880
朝日地域	1,389	422万2,560	702万2,560
国府地域	7,124	2,165万6,960	2,445万6,960
上宝・奥飛騨温泉郷 地域	2,595	788万8,800	1,068万8,800



高山市における金融機関の企業支援と 民間事業者による地域資源活用の参考事例

ヒアリング先一覧

9月9日	9月10日	9月11日
岐阜県信用保証協会 高山支店	中部山岳国立公園奥飛騨 ビジターセンター	高山市財政課
高山市商工労働部	奥飛騨温泉郷観光協会	高山市観光課
	ひだ桃源郷くぐりの観光協会	ひだホテルプラザ
	株式会社飛騨高山舞地美恵	飛騨信用組合
	株式会社多美人生開発 張沢丹氏	

高山市の産業課題とは？

岐阜県信用保証協会ヒアリング様子



(出所) 報告者撮影

- ・ 経営状況の企業間格差
- ・ 企業における成長の鈍化
- ・ 支所地域における産業政策の不足
- ・ 人口減少による地元企業の減少
- ・ 地域外への資金流出
- ・ 夕食難民
- ・ 地域経済循環の悪さ
- ・ 地域の稼ぐ力の不足
- ・ 旅行需要の縮小と形態の多様化
- ・ 担い手不足

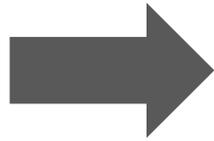
ヒアリング先一覧

9月9日	9月10日	9月11日
岐阜県信用保証協会 高山支店	中部山岳国立公園奥飛騨 ビジターセンター	高山市財政課
高山市商工労働部	奥飛騨温泉郷観光協会	高山市観光課
	ひだ桃源郷くぐりの観光協会	ひだホテルプラザ
	株式会社飛騨高山舞地美恵	飛騨信用組合
	株式会社多美人生開発 張沢丹氏	

飛騨信用組合を取り上げる理由

○飛騨信用組合の特徴

中小企業向けの金融機関の中でも経営領域が**狭域**



地域密着型の取り組みを数多く行う
(例)飛騨・高山サステナブルファンド

飛騨信用組合本部



(出典)飛騨信用組合ホームページ

支所地域の観光を推進する上で重要な役割を担うと考えられる

地域の産業と事業者を潰さないための取り組み

○売上倍増塾

経営者が税理士などとともに
コンサルティングスキルを学ぶ



地域企業の経営能力向上

○飛騨・高山サステナブルファンド

- ・投資を通じて地域の活性化に貢献する目的
- ・事業が軌道に乗るまでの一定期間、元金返済のない資金調達が可能



(出所)飛騨信用組合ホームページ

飛騨信用組合の今後の取り組み

○飛騨・高山サステナブルファンドを参考に

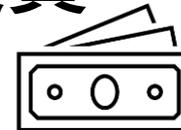
高根町では、有効な資金調達の手段が不足している
サステナブルファンドの支所地域版を作る

飛騨・高山サステナブルファンド

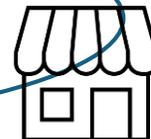


支所地域に限定したファンド

投資



支所地域の企業



奥飛騨温泉郷観光協会とは

○概要

奥飛騨温泉郷並びに上宝町地区における**観光資源の保護と観光事業の振興**を図りながら、**地方文化・経済の向上発展**に寄与することを目的とする。

○奥飛騨温泉郷とは

平湯温泉・福地温泉・新平湯温泉

栃尾温泉・新穂高温泉 … 5つの温泉の総称

郷内全体で

別府・由布院温泉に次ぐ温泉湧出量を誇る

内発的発展の
チェックポイントに

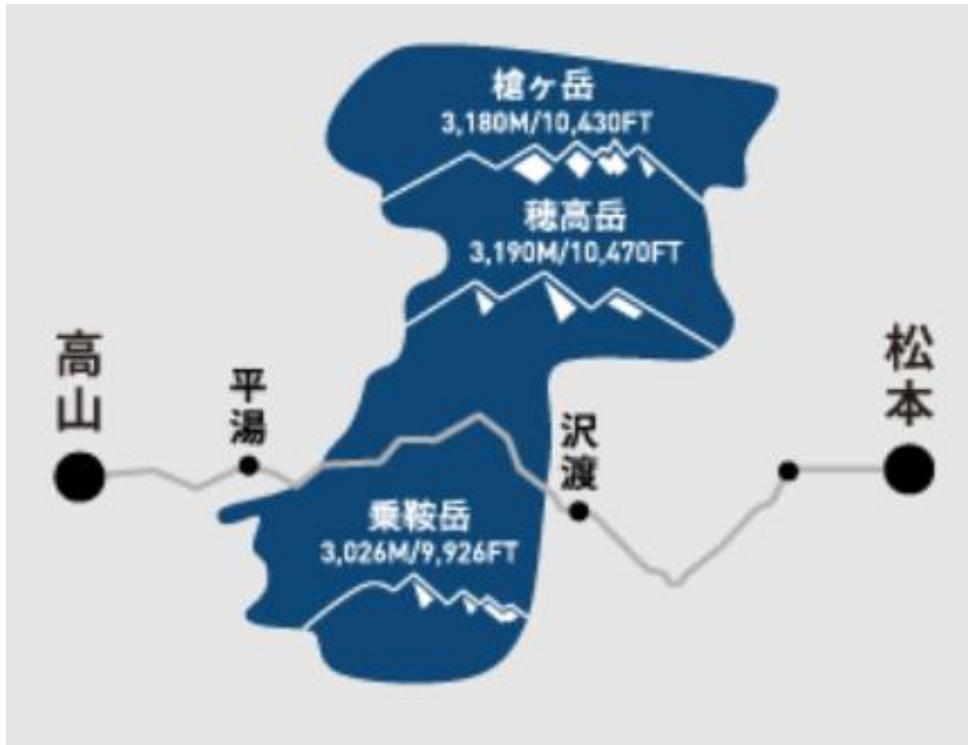


(出所) 奥飛騨温泉郷観光協会公式サイトより

奥飛騨温泉郷観光協会①

○松本高山BigBridge構想

多彩で上質な滞在できる魅力的な観光ルート



○奥飛騨温泉郷観光協会の方針

「北アルプス」



日本国内へ

3,000m級の山岳



2つの都市圏
(松本、高山)

○具体的な取り組み

- 宿泊施設や観光施設等の改修
- 廃屋の撤去

出典：中部山岳国立公園「松本高山Big Bridge Project」より

奥飛騨温泉郷観光協会②

○BigBridge構想を踏まえた誘客ビジネス

E-Bikeレンタル事業

- ・電動アシスト付き自転車を貸出
- ・中部山岳国立公園をサイクリング

バレルサウナ事業

- ・奥飛騨バレルサウナ
- ・「ひらゆの森」に、雪景色の中で貸し切りサウナ

- ・奥飛騨温泉郷というブランドを活かした**スモールビジネス**
- ・癒し、汗、山岳景観など「**地元体験**」を取り入れビジネス化



奥飛驒温泉郷観光協会

○分析から得られたこと

奥飛驒温泉郷観光協会



温泉資源の活用ノウハウ

連携

まちづくり会社



もともとある
資源の活用

塩沢温泉のさらなる利活用



(出所) 塩沢温泉 七峰館公式サイトより

地域資源を活用した取り組み① 久々野町

○ひだ桃源郷くぐの観光協会

アルコピアひまわり園見学
飛騨トマト収穫体験ツアー



元々ある**地域資源**や**場所**を活用して
若い人から家族連れまで観光客獲得
外国人観光客もツアー参加

高根町ではタカネコーンやキャンプ場
といった地域資源に注目したい！



(出典) ひだ桃源郷くぐの観光協会公式サイト

地域資源を活用した取り組み② 朝日町

○株式会社多美人生開発 張訳丹氏

地域の風景の**美しさ**や**人の温かさ**に感動



民宿経営「喜楽園」

「本物の田舎体験」の提供

➡ **地域の人々が主役**となり、知識や昔から伝わる文化、生活習慣を体験してもらう

高根の一員であると感じられる体験の提供



(出典) 作成者撮影

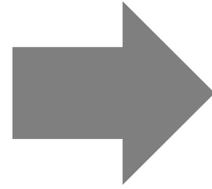


(出典) 多美人生開発公式サイト

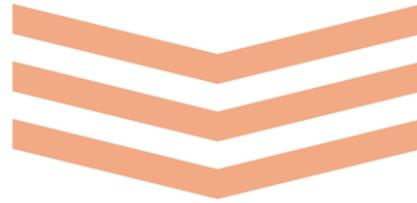
久々野町・朝日町を参考に考える高根町の戦略



地域に元からある魅力
=**地域資源**



商品・サービス化



地域資源を活かした高根町ならではの体験を提供したい



提案
高山市の高付加価値化事業

政府による高付加価値型ツーリズムとは

○高付加価値ツーリズムの定義

高いお金を支払ってでも購入、体験したくなる
ツーリズム商品・サービスを提供・販売することによって、
購入した人・顧客が自分自身の人生を豊かにできたと
感じ取れる、高い満足度を得られるツーリズム

○高付加価値旅行者（着地消費100万円以上/人の**訪日外国人旅行者**）の特徴

- ・一旅行当たりの消費額が大きい
- ・一般的に知的好奇心や探究心が強い
- ・体験通じて自身の知識を深め、
インスピレーションを得られることを重視する傾向

しかし、顧客は外国人旅行者
に限定されるものではなく
**日本人旅行者も対象に考えて
みたい（私たちの視点）**

高根町で高付加価値型ツーリズムを展開する意義

—高山市支所地域—

縮減社会化が進んでいるが

高付加価値型旅行者のニーズを満たす「地域資源」が

自然・文化・農業・特産品資源として地域の生活の中に**存在**している



高付加価値型ツーリズムは支所地域だから
展開できる

高山市の観光の多様性
支所地域の持続的な社会の維持・再生

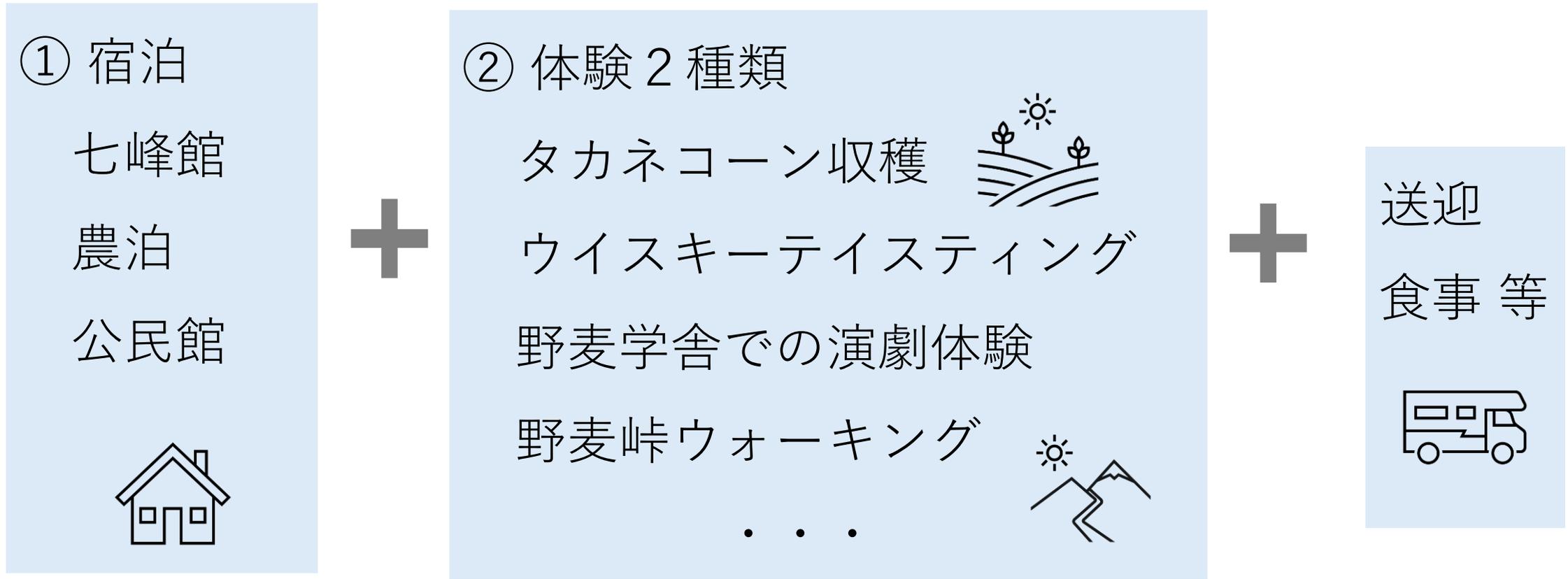
⇒高山版高付加価値型ツーリズムとは??

高付加価値型ツーリズムモデル地域（高根町）

高山市：2万7千円、星野リゾート：4万3千円
の中間の料金設定
観光関連就業者＝低所得者という印象を打破して
いくことも、将来、新卒や転職で若者を雇用
する上で重要なポイント

○高付加価値型ツーリズム（私案）

1泊2日 食事付き 体験2種類 **約35,000円（ひとり）** を想定



高山市宿泊費平均、星野リゾート料金について
高山市 飛騨高山プロモーション戦略部 観光課「令和5年 観光統計」（2025.1.8参照）
星野リゾート公式サイト「界 奥飛騨【公式】 | Hoshino Resorts KAI Okuhida」（2025.1.8参照）

高付加価値型ツーリズムモデル地域（高根町）

① **月10組（2人組）の場合** → **1年で840万円**

$$35,000 \times 2 = 70,000$$

$$70,000 \times 10 = 700,000$$

$$700,000 \times 12 = 8,400,000$$

② **月15組（2人組）の場合** → **1年で1260万円**

$$70,000 \times 15 = 1,050,000$$

$$1,050,000 \times 12 = 12,600,000$$

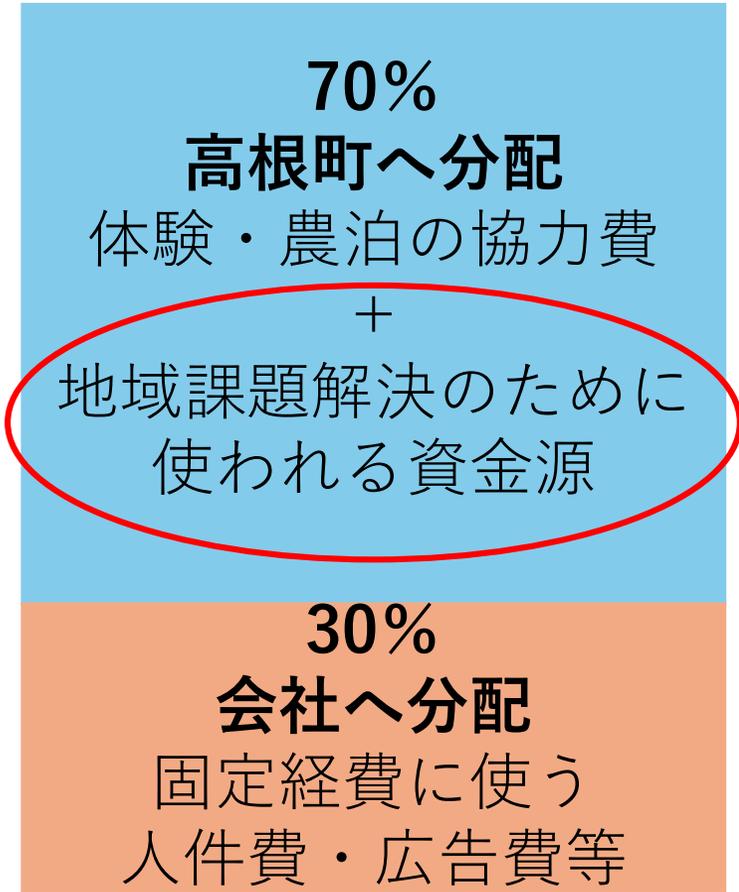
③ **月20組（2人組）の場合** → **1年で1680万円**

$$70,000 \times 20 = 1,400,000$$

$$1,400,000 \times 12 = 16,800,000$$

高付加価値型ツーリズム モデル地域（高根町）

○高付加価値型ツーリズム 収入分配方法



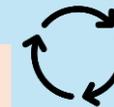
未来戦略では、関係人口（高根応援団）が地域の困りごと解決に協力する仕組みづくりが
目指されている。
高付加価値型ツーリズムの収入は
地域の困りごと解決のための資金源とも考える。

高付加価値型ツーリズム

収入



まちづくり会社
体験・農泊協力費用



農業の維持
空き家の活用等
地域課題解決のための資金



高付加価値型ツーリズムの展開によって
地域内で経済の好循環を起こす

高付加価値型ツーリズム モデル地域（高根町）

○事業内容

高付加価値型ツーリズム事業
（広告・PR、ツーリズム事業の推進、受け入れ態勢整備等）

○事業主体

まちづくり会社（株式会社または合同会社形態で公共性もあることが重要）

社長 }
部長 } **例えば、高根の住民、市民団体の役員、地元NPOの理事等**

従業員：地域おこし協力隊（任期3年：3年間の報酬は国が支払う）

↓ 任期終了

- ①まちづくり会社に残る
- ②高根で別の事業を起業
- ③その他



地域おこし協力隊



地域で雇用・定住の促進

高山市をフィールドにした高付加化事業における条件

○内発的発展論に基づく高付加価値型ツーリズムを展望するうえで必要な政策条件

- ①観光地経営を担う新たなまちづくり組織____(例)まちづくり会社や観光DMO
- ②地域内のリーダー（人、企業）の存在
- ③地域外リーダー（人、企業）との接続____(例)新規起業家、地域愛着ある人、大学
- ④人的資源や地域企業を運営面から支援するための資金



- ①**宿泊税の活用**
- ②**まちづくりファンド**の設立

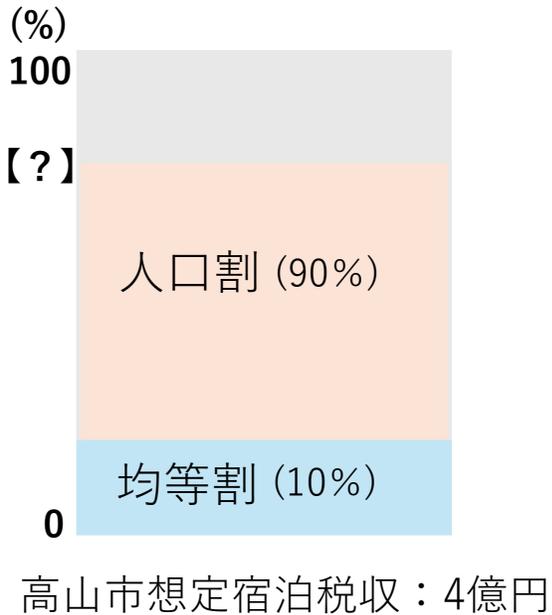


継続的に事業資金を確保できる仕組みづくりを行う

事業資金確保①：宿泊税の新たな可能性

○2025年度に導入の宿泊税の分配方法について考えてみる！

高根町(人口268人)
の場合



70%使用可能とする時

- ①1地域あたり2,800万円
分配可能
- ②均等割
1地域あたり280万円
人口割
一人当たり約3,040円
 $3,040(\text{円}) \times 268(\text{人})$
 $= 81\text{万}4,720(\text{円})$
均等割 + 人口割
 $= 361\text{万}4,720\text{円}$

80%使用可能とする時

- ①地域あたり3,200万円
分配可能
- ②均等割
1地域あたり320万円
人口割
一人当たり約3,470円
 $3,470(\text{円}) \times 268(\text{人})$
 $= 92\text{万}9,960(\text{円})$
均等割 + 人口割
 $= 412\text{万}9,960\text{円}$

90%使用可能とする時

- ①1地域あたり3,600万円
分配可能
- ②均等割
1地域あたり360万円
人口割
一人当たり約3,900円
 $3,900(\text{円}) \times 268(\text{人})$
 $= 104\text{万}5,200(\text{円})$
均等割 + 人口割
 $= 464\text{万}5,200\text{円}$

宿泊税を「ふるさと創造財源」(支所地域の振興重視の財源)として考え、「高根地域未来戦略」に充てる財源、民間団体での関係人口増加のための財源、地域おこし協力隊の活動費に活用できないか？

〈行政による支所地域振興のための新たな財源〉

= 宿泊税を支所に分配し活用することで、高付加価値型ツーリズムを展開・実現

事業資金確保②：まちづくりファンド設立

○まちづくりファンド設立への期待

【飛騨信用組合】

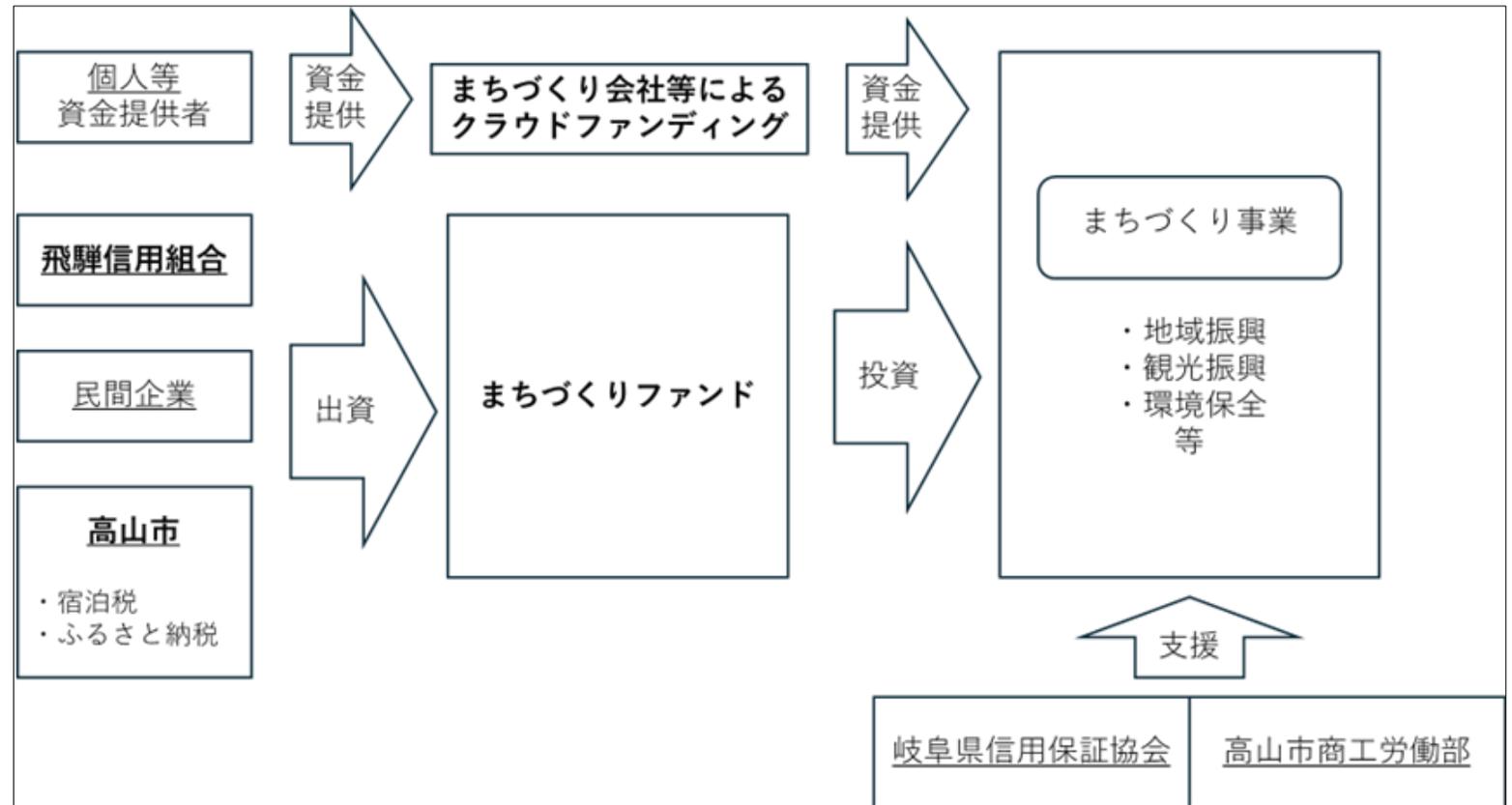
2024飛騨・高山サステナブルファンド

活かす

高山市と協働で支所地域のまちづくりに限定したファンド創設

高根地域未来戦略などの地域ビジョンの実現に貢献する高山市内外の企業やスタートアップ企業を運転資金、事業資金の両面から継続的に支援

支所地域支援を目的としたまちづくりファンドの仕組み

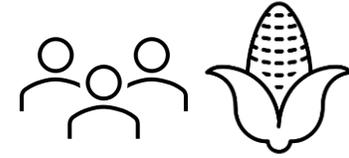


(出所) 報告者作成

ファンドレイジングの実践

○ファンドレイジングとは

単なる資金調達ではなく、団体や地域の社会課題を解決し、理想的な社会を目指す手段
→この手法として、クラウドファンディングや助成金などを活用する。



高山市内外から地域未来戦略に賛同する個人・団体より資金を集めファンドする
→高根町の住民がまちづくり会社で事業を行う際にファンドを活かせるように、
ファンドレイジングを行う！

まちづくりファンド

地域おこし協力隊

ファンドレイザーの役割を担う

特定非営利活動法人日本ファンドレイジング協会
で研修を行い、認定ファンドレイザーの資格を取得
→高根町内でまちづくり活動を行う際に
ファンド活用できる人材へ

高山版高付加価値型ツーリズムの実践に向けて地域に求められること

○支所地域

- ・ 歴史的建造物
- ・ 伝統文化
- ・ 農産物
- ・ 飛騨山脈など

来訪者を魅了し、遠方でも足を運びたいと思う地域資源を内包している

必要なこと

関係人口獲得

応援者の育成

一支所地域の再生に貢献するツーリズムー

地域資源

内発的発展

付加価値の高い
商品
・
サービス

地域資源
の探求

- ・ 後世に残したい
- ・ ブランド戦略にも
貢献するもの

土地

人

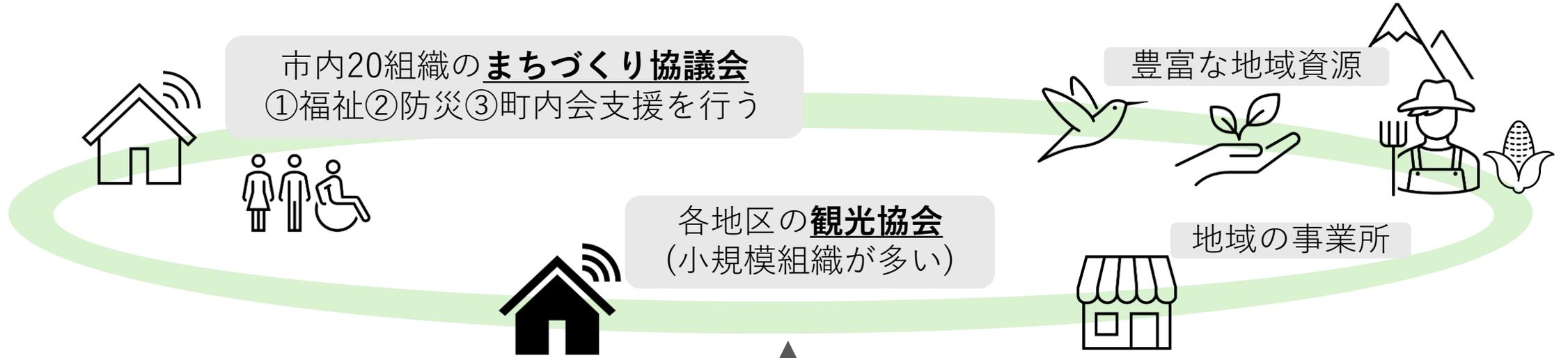
むら

地域資源への誇り

誇りの探求・保全＝地域の存続

事業を担う人材：地域おこし協力隊への期待

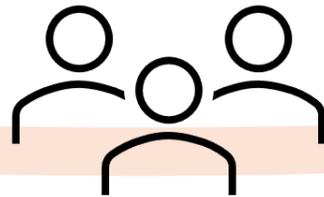
高山市内



地域全体で**危機感**を共有→**内発的発展**に基づく**地域を再生するツーリズム**が構築される

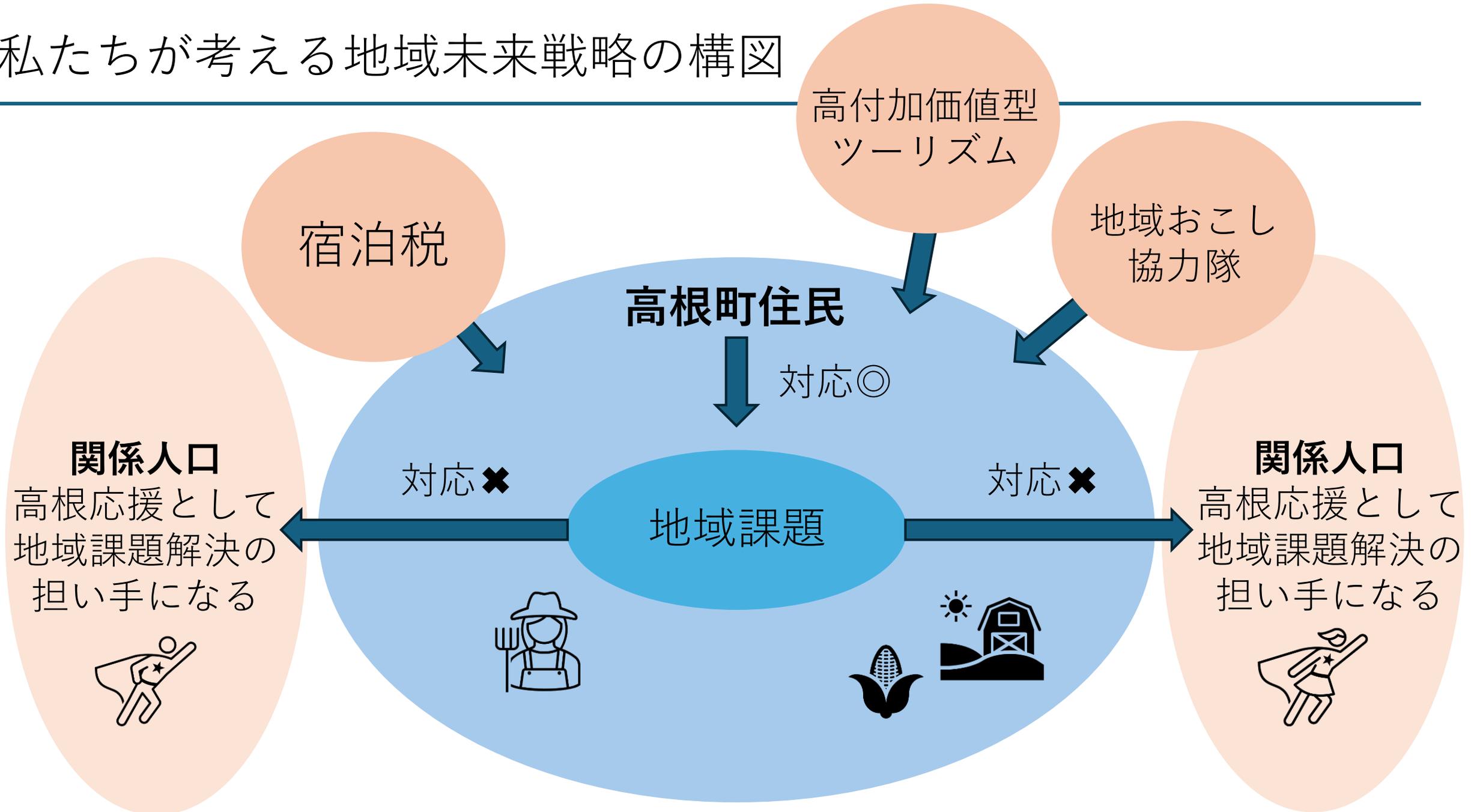
高山市外

地域おこし協力隊



地域おこし協力隊制度を活用することで、高付加価値化事業を行う**まちづくり会社**の設立・運営を担う**専門人材**を獲得する

私たちが考える地域未来戦略の構図



**ご清聴ありがとうございました
（＊2025年1月11日、高根町で
の住民懇談会報告資料より）**